

1. 件名：泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年7月19日(水) 13時30分～14時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与  
北海道電力株式会社：松村執行役員 他8名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・泊発電所3号炉 基準地震動の年超過確率の参照の検討状況について

時間	自動文字起こし結果
00:00:02	規制庁谷です。
00:00:05	面談を始めたいと思います今日の面談の内容としては7月7日の、火山影響評価のうち立地評価についてということで、7月7日に会合を実施してるんですけども、
00:00:18	その会合のラップアップということと、
00:00:23	あとは北海道電力の方から、基準地震動の年超過確率の参照の検討状況ということで、
00:00:32	これはスケジュールと、ちょっと検討の内容も含まれてるんですかね。
00:00:36	その二つの内容を面談で聞いていきたいと思います。
00:00:42	まず話としては、火山影響評価のラップアップの方から進めたいと思います。
00:00:48	で、下在庫評価の、これ会合のときに、
00:00:54	審議結果という形で、泊の場合は出して、一応、
00:01:00	会合での議論の内容というのは、共通理解をしているというふうには我々思ってるんですけども、
00:01:07	改めて
00:01:09	その会合の後、いろいろ検討する中で何か確認しておきたいこととか、ちょっと趣旨を、が
00:01:18	ひょっとしたらこうかもしれないとかいう話があればですね言っただけなら、ここのこの場でラップしますけど、その辺いかがですか。
00:01:30	和泉です。審議結果、
00:01:33	文面でもいただいておりますので今日考えたのは、それぞれのコメントについて基本的な理解としてはこういう理解をしていて、現時点ではこういう方向の整理を考えているとそれをセットで、
00:01:46	報告さし上げてそれをベースに、
00:01:51	事実確認或いは議論ができればいいかなというふうに思っておりました。
00:01:56	そんな、
00:01:56	感じてよろしいでしょうか。はい等にですよというあれなんですよねこのラップアップの場っていうのはあくまで公開後の趣旨確認で、方針をこうしますとかいう話を
00:02:08	あんまりこう議論したりとかするつもりは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:11	ないんですけど、そうだしこう理解していますっていう話までは、していただいてもいいんですけど、だからこうしますっていうのは、今ここで聞いただけならいいですけども、
00:02:23	話せないし、
00:02:26	もしこうしたいとかいう事業者としての考えがあるんだったらなんかそれ資料じゃないとなかなか、
00:02:34	ただ聞いてもわからないかなっていう気はするんですけどいかがですか。はい。北海道電力泉です承知しました。
00:02:42	面談の趣旨にのっとった形で、
00:02:45	コメント等の、我々の理解、趣旨の確認ということで進めさせていただければと。
00:02:52	思います。よろしくお願いします。
00:03:27	はい北海道電力の箕輪です。
00:03:31	7月7日の静様でいただいた審議結果の各項目について、趣旨の確認をさせていただきます。
00:03:38	まず、墨つき学校で立地評価と書いてあるところの、
00:03:43	方からいきます。①のところ、巨大噴火の評価対象のうち、
00:03:49	クッタラ登別火山群の評価に係る判断根拠が明確になっていないというところになります。
00:03:55	これについて、クッタラ登別火山群起源の、
00:03:58	KP名について、噴出物堆積は巨大噴火かどうかの根拠の一つとなるということで、
00:04:05	文献を引用するのみではなくて、文献記載に対する当社の考えを示すこととの趣旨と理解してございます。
00:04:14	続いて②番。
00:04:17	巨大噴火の可能性8日に係る各種データを用いた評価結果の説明が不十分と。
00:04:23	いうところ、これについては、支笏カルデラ、クッタラ登別火山群、
00:04:28	洞爺カルデラ、これらの巨大噴火の可能性評価について、
00:04:32	各火山の直下に巨大噴火に、
00:04:39	はい。角田の直下に巨大噴火に直接寄与するマグマだまりを示すデータがないと。
00:04:44	いうことを積み上げていって、それらをもって総合的に評価することの趣旨と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:50	いう形で理解してございます。
00:04:53	次に③番の方、
00:04:57	支笏カルデラの地下構造に関して、既往知見に照らしてマグマたまりの存在の可能性を否定する根拠が十分に整理されていないと。
00:05:05	いうものについて、支笏風については、
00:05:10	1個作ったらどうや、これの3火山の中でも、文献によってカルデラ直下に呈していく領域が報告されていると。
00:05:16	いう火山ですので、上部地殻に巨大噴火に直接寄与するマグマだまりが存在しないことを、
00:05:22	より丁寧に説明する必要があるという趣旨で理解してございます。
00:05:28	続いて、
00:05:31	影響評価モニタリングに係る今後の主要な論点という方になります。
00:05:36	一つ目として火山灰層厚の評価にあたって必要な整理と、
00:05:40	三ついただいておりますけども、
00:05:43	これらのまず一つ目については、敷地近傍に加えてより広い範囲の文献調査結果を示した上で、
00:05:50	当社調査結果と文献調査結果が整合していることを示す必要があると。
00:05:55	いう趣旨で理解してございます。
00:05:58	二つ目のポツについては、
00:06:00	F-1断層開削調査箇所スケッチに火山灰などと記載された。
00:06:05	4番の堆積物、これらが降下火砕物の影響評価の対象となるかどうかの説明が必要と言う趣旨と理解してございます。
00:06:14	三つ目のポチについては、降下火砕物シミュレーションの対象としている予定山の和洋市、
00:06:21	恵庭岳のディー・エヌ・エー、これ、これは当社が選定した考えを、より丁寧に説明する必要があるという趣旨と理解してございます。
00:06:31	次に、②番の方の火山活動のモニタリング実施方針の説明にあたって必要な整理と、
00:06:38	いう方ですけども、
00:06:40	支笏火砕流の敷地への到達可能性について、葛西李の分布に加えて、当社の地質調査結果、
00:06:47	文献調査結果これらが整合していることを示す必要があると。
00:06:51	いう趣旨で理解してございます。
00:06:53	いただいた新劣化に関するそれぞれの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:06:58	当社の趣旨の理解は以上になります。
00:07:17	井谷です。ざっと口頭で、こういう理解ですっていうふうに聞き聞いている限りは、
00:07:26	やはりですね審議結果に即して、理解しているということかと思っ て、
00:07:36	審議結果の中で特に、
00:07:41	趣旨が伝わってないとか
00:07:44	ちょっとひょっとしたらこうかもしれないとかそういう迷いは特に発生 していないということでもいいですかね。
00:07:58	電力の渡部ですすみません7月7日の審査会合のご指摘のうちですね、 ちょっと趣旨を改めて確認させていただければと思っているものが、
00:08:09	影響評価及びモニタリングに係る今後の主要な論点、
00:08:13	①火山灰層厚の評価にあたって必要な整理の一つ目のポチになりまし て、敷地周辺の地質調査については、より広い範囲における文献調査 結果等も併せて示し、
00:08:27	調査範囲が十分であることを示すことが必要であるというふうなコメン トがございまして、これ審査会合の中の審議の中では等、
00:08:35	文献と地質調査結果との整合性といったようなキーワードも出てきてた かなと認識してございまして、例えばイメージしているものとしまして は自社として、半径10キロを中心に地質調査をしていて、
00:08:51	その中で、例えば漠と、
00:08:54	苫小牧とかっていう火山灰は確認されていないっていう状況にあったり するんですけども、一方で、敷地については、文献による統幕と苫小 牧、
00:09:04	の、
00:09:05	アイソパックがかかっているという状況になっていて、
00:09:08	自社では確認されないけど、
00:09:11	文献ではアイソパックがかかっていると、こういったものに対して、事 業者としてどういう解釈をするのか、するんであるとかそういったとこ ろを、
00:09:20	例えば、火山灰としては確認されないんですけども、泊と苫小牧のアイ ソパックがかかっているの、そこについては、到達していたこと自体 は否定するものではなく、自社としては確認できていないとかそういっ た解釈をすることで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:09:35	文献と地質調査結果に差異があるのか、整合するのか事業者としてどう考えているのかということを示していくイメージかなと思ったんですけども、その趣旨の理解で、
00:09:45	間違っていないでしょうかというところをお聞きしたかったところです。以上です。はい、谷です。なんかそういうことも必要でそれ多分1例の話でして、
00:09:56	例えば敷地の周りで、本当に文献調査を
00:10:03	やり尽くした上で、例えば、具体的にここにこんな火山灰露頭があるとか、いうのが出てきたらそれはそれで確認しなきゃいけないこともあるでしょうし、
00:10:18	例えばクッタラの話だとかっていうのも、何か一つの例ですよねクッタラっていう KT 通側のニセコの黒子区の方にも出てくるかもしれないとか、
00:10:29	そういう知見がある中で、どうしてこう敷地周辺にはクッタラはないって言ってるのかとか、そういう確認が必要であって、ただ、アイソパックがかかっているから直、すぐにそれをこう確認しなきゃいけない。
00:10:44	くなるかという、それはちょっと整理の仕方かなというふうに思いますけれども、まずは文献が、もうちょっと今の、
00:10:55	こういうのがちゃんとしっかりされているのかどうなのかっていう繋ぎの部分が、
00:11:00	今はしっかり説明できていないんじゃないのかっていうふうに見えるわけですね資料として、
00:11:06	文献でこうなっててそれに対して敷地の調査はこうなってます。
00:11:11	ていう間かな、うまく
00:11:15	流れていない。だから、我々も、いやもうちょっとこう広い範囲、みんな見なくていいのか、
00:11:24	っていう判断がなかなかこうつきにくいと。
00:11:27	ということで、それまずわかりやすく説明する必要があるし、文献調査で何かこう指摘されているようなことがあるんだったらそこはもう少し充実する。
00:11:37	必要があるんでしょうねと、我々の具体的にここにこういう知見があるのに、北海道電力を見ていないとか、そういう具体的なことを何か
00:11:47	指摘しているつもりはないので、そこは事業者の方で、
00:11:53	ちゃんと整理してもらって説明をして欲しいと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:11:57	いうところなんですけれども。
00:12:03	この渡邊です。
00:12:05	例えば、今の文献調査網羅的にやってるんですけども、その結果として、敷地近傍に、
00:12:12	降下火砕物が来てるよとされているものが、今示してるもので本当にすべてなのとか、そういったところからまずはと思ひまして
00:12:23	江藤は磯野の事例でいくと、YS の事例を細かく調べていくと、洞爺火砕流という可能性もある一方で、KPII っていう話も出てくるので、
00:12:34	それって、やはり KT 数があるよっていう大事な情報で、そういった漏れが他にないのかっていうところも示していくっていう、まずはは入口としてはそこかなと考えました。
00:12:46	その上で自社の調査をしたときに、今の 10 キロの中で見えているもので、
00:12:52	文献から地質調査に入っていった時にその範囲で、
00:12:56	確認できているもので、なんつうか、十分っていうのかな。
00:13:01	文献等、整合しているかどうかでことになってくるんですかね、会合での。
00:13:07	新指摘を踏まえると、整合しているかどうか。
00:13:12	うん。整合しているかっていう言葉を使ってますけど、
00:13:17	これ文献で言われてる
00:13:20	言われてることに対しての調査が漏れがないかっていうことなんですけれども、それが一つ、整合しているようなことがちゃんと確認できるんだったら、整合しているっていうのを説明できるんだったら、
00:13:31	それは漏れがない一つの指標にもなるんじゃないんですかねっていうような意味で言ってって、要するに漏れはないですかって言いたいだけであって、
00:13:41	例えば、
00:13:43	文献で、このここに、口とありますよって言うてるのに、北海道電力でないってなったらそれは整合していない、すなわちこれは十分じゃないとかそういう話になるのかなという
00:13:55	1 例というか、そういうつもりで整合っていう言葉を使っているんで、
00:14:03	漏れがないっていうのを言えれば、
00:14:07	整合しているから漏れがない、こういうのも網羅的にやってて、それは地質調査でも同じようなことが確認できてて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:14:17	ちゃんと確認できているので、それは漏れないんですとかいうそういう説明になるんじゃないのかなと思いますけど。
00:14:24	うん整理の仕方というのは北海道電力の方で考えていくのかなと思いますけど。
00:14:31	渡部です。はい、承知いたしました。まずは文献調査として、敷地近傍に認められている火山灰として漏れないか、そのあとに地質調査として文献調査を踏まえた調査として、漏れないのか。
00:14:45	というところを示せるようにしていきたいと思います。ありがとうございます。以上です。
00:15:02	いいですかね。あとこちらからもちょっと伝えたいことがあって、
00:15:06	じゃあ、次回の会合をどうするんかという話なんですけれども、
00:15:11	まず
00:15:13	多分立地評価は、
00:15:17	これだけコメントが残ってるんで、できれば立地評価に合わせてね影響評価を聞いていくっていう選択肢もあったんですけれども、やっぱりそこはですね、
00:15:27	影響評価を聞くと言っても、立地評価もそこそこ議論が残ってるっていう中で、立地評価の影響評価も高は入れるとしたら、
00:15:39	まずはその影響評価の方針、
00:15:44	だけでも、議論ができたらな、どういうふうに思ってますし、それを我々の方としても、現地調査をゆくゆくしなければ、
00:15:55	しようと思っていると、事業者の方もそれを希望されているっていう認識でいるんですけれども、そこに今年例えば行くとして、どこまでの内容が、
00:16:08	我々が見れていけば、現地調査に高効率的にいけるのかと、いうことも考えてもらいながら、次回の会合でどこまでの
00:16:19	資料として出すのかと。
00:16:23	ここで影響標高がサッと交付資料。
00:16:27	ふやしたら、必ずしもこう議論が進むわけじゃないと思うんで、このこの方針までは議論したいとか、そういうのを考えていただけたらなというふうに思うんですけれども。
00:16:38	会合でもでね
00:16:41	そういう意図はって言ってるつもりなんですけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



00:16:47	方針までを聞くのがいいんじゃないのかという考えなんですけどいかがですかね。
00:17:02	はい。北海道電力和泉です。基本的には今谷さんがおっしゃいました、影響評価については方針を審議いただきたいなというふうに思っています。
00:17:15	ただ一方ですね、
00:17:16	方針だけを審議するのではなくて、一步少し踏み込んで、例えば
00:17:23	降下火砕物の層厚評価、それから、
00:17:30	えーとですね、あとは、
00:17:32	モニタリングの対象となるもの。
00:17:37	それから、
00:17:39	あと、火山シミュレーションの選定、
00:17:42	今丹羽桃葉邸をやっておりますけども、なぜそういうふうに、その二つが絞り込まれていったのかと、そのあたりはですね。
00:17:51	重要なことかと思しますので、基本方針なんですけれども今私が申し上げたところについては、できる限り結果に近いところをお示しして、
00:18:03	議論していくのが議論とか審議いただくのが、後の
00:18:09	現地調査を考えたとしても、良いのではないかと、いうふうに思っていますんで、それが整理して審議いただくということと、先日の7月7日の審査会合で、
00:18:22	いただいた立地評価に関するコメント回答、それも同じタイミングで、返していければいいなというふうに思っております。なので
00:18:32	影響評価については先ほど申し上げた通りです。その内容と、立地評価のコメント回答をそろえて
00:18:41	回答して、審議いただくのが最も効果的かなと思っています。以上です。
00:18:49	うん。はい。谷です。あのね、その辺をどこまで取り込むかっていうのは、
00:18:55	北海道電力で考えていただけたらいいかなとは思いますが、かといって結果に近いところっていうのがどこどこというちょっとイメージがはっきり分けませんけれども、
00:19:06	どう、どう考えてどんな方針でやっていくんだっていうそこがまずね多分大事なことだと思うので、まずそこはしっかりと説明した上で、
00:19:16	そういう考え方でいうと、こうなる見込みだとか、それはねそれ、入れてもらってもいいのかなというふうには思いますけれども、かなり

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:19:26	説明の論理構成の部分を議論になるとは思うので、
00:19:33	この間言いましたなんで、何でクッタラは見なくていいんだとか敷地のF1、開削調査箇所融度等ははどうしてこう、
00:19:46	見ないことになってるんだとか、或いは見るんだったら、ここまで見るんですとかいう話を、その辺が論理構成としてしっかり
00:19:58	組み込まれては、考えがおかしくないのかっていうのを多分議論することになるので、
00:20:05	そこの中に結果としてこうなりますってなった、あったとしても、その前段の考え方が、やっぱりこれ足りないんじゃないのって、議論になったらそれはそれであんまり意味がないことになりそう。
00:20:19	とは思いますが、
00:20:21	ちょっとその辺のバランスを、
00:20:23	考えて、資料作ってもらったならなとも思いますものがないのであんまりこう具体的な話できませんけどね。
00:20:33	はい。北海道電力泉です。菅さんのご発言の趣旨理解しているつもりです
00:20:40	私ちょっと説明が下手だったかもしれませんがも方針だけではなかなかかっていうところもあるので、より具体的な今後の整理するイメージがわくような論理構成、例えば
00:20:52	F1の開削の層厚の見方をどうするのかとかそういったこともそうでしょうし、そういったところが見えるような、説明をしないと、
00:21:02	その後の結論をイメージしながらの議論ができなくなるというところもあって、ただの方針ではなくて少し論理構成とかも含めて、
00:21:13	できる限り詳しく説明できる場所はしたいと、そういった思いを伝え、お伝えしたつもりです。以上です。
00:21:24	入ったんだけどその辺検討していただいて、優先すべきは何か、立地評価立地評価でコメントに答えるように、一生懸命やんなきゃいけないですし、どこまでやるのがいいのかっていうのを、
00:21:38	考えていただいて、途中でですね
00:21:42	ここまでやった方がいいとか、その資料できる前に何かあればですねそれ面談申し込んでもらってもいいと思いますので、
00:21:53	今後検討いただけたらと思います。
00:22:01	規制庁の名倉です。
00:22:05	今大体意図してるところは議論していただいたのかなと思うんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:10	もう少しちょっと、
00:22:12	具体的な意図しているところというところをちょっとお話ししようとする、
00:22:20	冬前に、
00:22:21	現地、
00:22:23	で確認しないといけないところについては確認しておきたい。
00:22:28	その時に、
00:22:30	どこまで審議を進めることが、その前にできるのか。
00:22:35	なんですけれども、
00:22:37	少なくとも可能な範囲で、立地評価に対してのコメント回答はしていただくということと、あと影響評価に関しては少なくとも方針のところは返していただいて、
00:22:50	少し見通しをお示ししていただくと。
00:22:55	立地にしても影響評価にしてもモニタリングにしても、
00:23:01	現地をなんか見た方がいいと。
00:23:04	データとして、
00:23:06	それは火山灰層厚の、
00:23:09	分布、
00:23:11	ということで、何か実際に現地で見た方がいいというようなものがあるのかどうか、それから火山活動のモニタリングで、施工する火砕流。
00:23:22	この敷地の到達可能性とか、そういったところが論点になりそうなので、それに関して何か見るべきものがあるのかとか、
00:23:31	その現地に行った後に、
00:23:34	審議を進めると。
00:23:36	もう雪は降ってるんですけど、冬で、
00:23:40	ということも念頭に何を
00:23:43	現地調査前の会合として説明しておくのか。
00:23:48	どこまで進めておくことができるのかその時の状況にもよると思うんですけど、
00:23:52	最低限、現地で富田方がいいところ、
00:23:57	に関するデータというところで、立地評価影響評価、双方に、
00:24:03	もしくは片一方かもしれないけれどもそれに使うデータとして見てみた方がいいものについては、
00:24:09	やはり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:24:11	9月の会合で、
00:24:13	ある程度データ、
00:24:15	というものは言及して、
00:24:17	こういった方がいいのかもしれないそれに関わる方針は述べておいた方がいいかもしれないとか、
00:24:23	ちょっとまた現地でいろいろ確認するにしてもそこに繋がるような、
00:24:27	ところで留めておいてもいいだろうと。
00:24:31	そこは可能な範囲でお願いしたい。ただし、現地調査の前に、
00:24:35	どこまでやっておくか。
00:24:37	というところを念頭に考えました。
00:24:40	いうところでちょっと、
00:24:42	意識というところをそういうところにおいて、施設説明というか説明内容と考えていただければと思います。
00:24:50	あまりこう、
00:24:53	進められるところは進めておいてもいいんですけど、
00:24:56	本当に漏らしちゃいけないところは何なのか。
00:24:59	ていうところを考えつつ、やっていきましょうということをお願いしたいと思います。以上です。
00:25:11	北海道電力泉でございます。今のご指摘承知いたしました。
00:25:17	趣旨を踏まえて、
00:25:18	いろいろ考えて進めていきたいなというふうに思います。
00:25:33	すみません規制庁の鈴木ですけれども、ちょっと3点ほど、一つは審議の心血管の方の立地評価の三つ目の支筋カルデラですねこれオリジナルで、
00:25:44	やはり低比抵抗領域の
00:25:47	ところにある、これ Melt なのか水なんですかっていう。
00:25:50	そこもクリアにというところでちょっと補足だけしておく、介護であまり具体的に何度みたいな話のところまではなかったかと思えますけど。
00:26:00	いわゆるその流紋岩質 Melt で、
00:26:05	何度ぐらいのものだ、であれば多分 10 キロ 20 キロあたりで、アンドぐらいのものがあれば、そこまで想定されてですよ。
00:26:14	かなり純粋な Melt だとかなり今度高いんですけど、ある程度

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:26:19	均一なもので、て呼んでもこのぐらいまでですよっていうものをきちんと押さえた上で、想定してこう領域の分布深度での実際の温度ですよ ね。
00:26:28	その関係から、クリアにいやこれはさすがにこんなに低い温度で見ると ないので、
00:26:33	じゃあ2択のうち、どうですかっていうところが、やり方と一つとして あるのかもしれないので、少しその、
00:26:41	温度みたいな話も少し会合ではしていおりますので、
00:26:46	もしそのどんメールだったらどのぐらいのんだったら考えられて実際の ものはというところをちょっと文献とか広く、あさってもらって、情報 を取ってもらってからですね、
00:26:56	一つメーカーとして考えて欲しいかなということでそれが1点目。
00:27:01	2点目は、こっから先は会合での指摘の延長というよりも、今多分、立 地評価の法定ガイドでいうと、運用期間中における巨大噴火の可能性が 十分小さいと判断できる。
00:27:15	ていう時に、
00:27:16	二つあって、一つが現在の活動状況は巨大噴火が差し迫った状態ではな いっていうことと、運用期間中における巨大噴火の監査を示す科学的に 合理性のある具体的な根拠をえられていないっていう。
00:27:30	一応二つあって、前者のところまさしくその前回の会合では足りない部 分というところで指摘をしますけど、それが当然説明がされる前提 で、
00:27:41	後者なんですけど、これちょっと過去の審査実績率0とかっていうとこ ろで申し上げておくと、
00:27:48	北海道でももう具体的に活動始めてると思うんですが火山防災協議会っ てあると思うんですよ。
00:27:57	ちょっと具体的に想定被害想定というか噴火想定まで、ここにもう決ま ってるかっていうところまで私見てませんけど、クッタラとか宇津と か、あと支笏は、樽前ですかね、樽前さんの火山防災協議会みたいな形 で、
00:28:11	出ていて、なぜかっていうと火山ガイド変わって今みたいな、その二 つ。
00:28:17	規程を作ったときに、多分6ヶ所とかいわゆる前例ですよ。そういう ところだとこういう火山防災協議会のところで、どこまでの規模のもの を想定していますが、当然その中には、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:28:28	巨大噴火って想定してましたけど、巨大噴火で設定して御社が考えてくれるんですね。
00:28:33	そう言ったようなところも含めて、ちょっとこの火山防災協議会の情報っていうのをですね、ガイドでいうところの、運用期間中に巨大噴火の可能性を示す科学的に合理性のある具体的な根拠が、
00:28:45	受けられていないのかいるのかっていうところの、
00:28:49	ものとして少し先行の、
00:28:51	サイトで、
00:28:53	情報収集なんかも、
00:28:54	参考にしてもらえればと思います。
00:28:57	あとは単なる記載の適正化ということなんですけど、資料中に、
00:29:01	原子炉火山部会資料みたいな形でモニタリングのところ引用してると思うんですけど、多分それDで最終的にあれ、原子炉火山部会の名前で報告書という形で、
00:29:14	最後、決まっているので、
00:29:16	そこはですね、何かその途中、何か会議で説明された資料ということではなくて、きちんと報告書っていう形で、もしですね、引用されるならされた方がよろしい単に記載の適正化という意味ですけど、
00:29:30	今後、
00:29:31	モニタリングの方ですね、資料を作っていくときには、適正化をしておいてもらいたいかと思いますので、ちょっと以上3点。
00:29:39	一つ目が指摘と関連する補足ですけど、西尾沖ます。
00:30:01	斎藤電力の渡部です。3点ありがとうございます。流紋岩進めるとの想定される温度の観点、文献調査、幅広くその観点も含めて確認を進めさせていただければと考えてございます。
00:30:14	ガイドの科学的に効率性のあるという河野エビデンスに関しましても、6ヶ所先行サイトの事例ですとか、今、5、
00:30:23	震災いただきました火山防災協議会の記載等を改めて確認をさせていただければと思います。
00:30:28	記載の適正化に関しましては、最後の報告書フィックスしたものを、
00:30:34	文献として引用する形で修正をさせていただきたいと考えてございます。以上です。
00:30:46	赤木です。あとね私の方からなんですけれども、これ会合ではちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:30:52	あんまり会合では触れてないような話なんですけれども、
00:30:56	整理をするときに、
00:31:02	到達したかしていないかというのは、北海道電力の整理、
00:31:08	火山事象が到達したかしていないか。
00:31:11	その整理っていうのが、巨大噴火についてもそうなんですけどもモニタリングを考える上で、そこを整理しましたっていうような位置付けに今なってるんじゃないかと思うんですよ。特に巨大噴火に関しては、
00:31:24	ただね何かこれは今のガイドでは、ちょっとそう読みにくいのかもかもしれないんですけど、
00:31:31	先行サイトとかではですね設計対応不可能な火山事象が到達可能性の整理っていうのを結構前の方に持ってきていて、
00:31:42	何て言うんですかね、どういうふうにしてこれは敷地への、
00:31:48	到達可能性範囲に、
00:31:51	含まれているのかどうなのかっての結構最初の方に評価しているようなサイトもありますから、具体的に言うと原燃だとか、そういうサイトなんですけれども、
00:32:02	何かそういったのがねちょっと白崎にあったほうがわかりやすいのかもしれないんですよ。で、これ本編の流れとしてどう組み込むかとかを列なんですけれども、
00:32:13	そういった点で整理する。それ参考になるのか、北海道電力の方の整理としてどうするのかというのを、
00:32:20	あるんですけど、それが先であれば、わかりやすくなるようなところもあるのかもしれないところに
00:32:27	何だっけ。
00:32:29	ニセコ雷電とか近いじゃないですか。で、
00:32:34	そういった中で評価をするときに、
00:32:37	大事な火山は困難なんですよとかいう話だとかを先に整理するっていうのはありかなというふうに思いますけれども、ちょっとそれはですね先行サイトの例とかを見て、
00:32:47	いかにこうわかりやすく伝えるかっていうのをですね、検討してもらったらい、いいと思うんですけども、あともう一つはね
00:32:57	僕が支笏の到達、
00:33:02	支笏支笏の到達範囲北海道電力としての考えをしっかりと説明してください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:33:08	その中には、
00:33:10	遠矢遠矢のときの火山灰の評価こうしましたよっていうのも、成功する ようにしなきゃいけないですよっていうふうなことを会合で言いまし た。
00:33:20	であれって、私支笏をあの会合では支笏のことを強調して言ってますけ れども、
00:33:26	北海道電力の今までの調査からしたら、それ対象火山灰ってニセコの方 とか、
00:33:35	その辺の話もですね、
00:33:38	整合するようには整理しなきゃいけないと思うんですよ。
00:33:42	わかります。
00:33:46	そういうことで、
00:33:47	敷地に、
00:33:48	含まれてるような火山灰を、
00:33:51	うん。うん。
00:33:52	そうそうそう。
00:33:54	はい。
00:33:55	そういうのもねしっかりと整理してもらわないといけないんだろうなと いう。それ関連する話の中でまだ、だから前回の会合ではそこまでも議 論が進んではいなかったですけど、
00:34:08	ちょっと論点としてその先出する意味でちょっと、
00:34:11	お伝えしました。
00:34:15	あとさっき鈴木さんのお話ありましたけれどもやっぱりねここはね支笏 のメルトの存在が示唆されていると。
00:34:23	メルトの存在が示唆されているということは正確じゃないすねもん Melt があるかもしれないというような、
00:34:30	メールとか、ミヅカ
00:34:32	すみません正確に言えないですけど、
00:34:35	そういったちょっと、
00:34:37	上部地殻にそういったことですね、
00:34:41	全部論文とかで言われているようなところ。
00:34:45	だからその Melt が本当にあるのかなのかという、こう説明っていう のは非常にこうだ、大事だし、審査でも重視していくことになると思 いますのでしっかりとですね、その辺は説明していただきたいと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



00:34:57	というのが前回の会合でのメッセージなので、よろしくお願いします。
00:35:11	電力の渡部です。
00:35:13	江藤先ほどの到達可能性のお話に関しましては、多分、今のが移動のフローにとらわれずに、わかりやすいところに、何かそういったところ、
00:35:23	入れていくということをちょっと考えてみようかなと思っています。
00:35:27	その時、
00:35:28	もう、
00:35:30	巨大噴火、32火山のうちの活動可能性が否定できない13火山をみんながみんなやるというより、もう巨大噴火とか、
00:35:43	敷地に近いニセコとか、
00:35:45	そういった重要性にかんがみたものに対して、どこかでわかりやすく示していくっていうのが望ましい姿かなと思ったんですけど、ご趣旨に合っていますでしょうか。
00:35:57	うん。はい、谷です。
00:36:00	結局大事なのはそこだと思うんですけども、それは場合によっては体系的にこう全体を流して行ってフローで1回説明しとくとかもうあるのかなと思うんですけども。
00:36:11	やっぱりこの北海道電力の13火山選んでるっていうのはどういう、どういう敷地との関係なのか。もちろんですね審査してる我々だとか、
00:36:22	北海道電力の方は十分わかってると思うんですけども、その辺の関係のところから、わかるようにした方がひょっとしたら伝わるかもしれない。
00:36:32	いう。
00:36:33	ことで、これ審査でマストかどうかって言ったらちょっと別の話かもしれませんが、
00:36:39	検討していただけたらと思います。
00:36:42	渡邊ですはい、承知いたしました。ご指摘の通り少し立地評価の中で、到達可能性ってやっぱり、浮いてるような感じにどうしてもなってるのがわかりづらくさせてるところなのかなと思いますので、
00:36:56	入れ方、あと、13火山とすべきなのかどうかというところを検討させていただければと思います以上です。
00:37:23	井谷です。当時天野火山の方は、ラップアップの方は以上にしたいなと思うんですけどもいいですかねもしあれだったら面談の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:37:32	この後、基準地震動の話聞いた後にでも何か思い出したら、言っていただけたらと思いますので、
00:37:40	続いて、
00:37:44	基準地震動の年超過確率の参照の検討状況についてということで、資料がきてるんですけども、
00:37:55	ちょっとこの資料説明してもらいましょうか会合の予定がこれ7月末っていうふうになっている。
00:38:04	中でどういう説明をしたいのかっていうのが、
00:38:08	パッと見てもよくわからなくて、まず説明をお願いします。
00:38:14	はい。北海道電力野尻です資料1枚ものを1枚ですね表裏になってます。2ページ目の方ですね基準地震動の年超過確率の参照の検討状況についてと、
00:38:26	ということで記載しております上黄色い箱の中ですが、まず7月5日にヒアリングをしていただいてその中で事実確認していただいたときのコメントといいますか指摘ですねを踏まえて、
00:38:40	地震規模等の諸元設定等の考え方ですね根拠、考え方が一部不明確なところがあるということでその記載の充実化等を今行っていると。
00:38:50	ということで具体的には地震規模ですとか値は、地震の年発生頻度の記載の充実、それから周期性を考慮できる断層の
00:39:00	明示ですとかその考え方の記載。
00:39:03	それから積丹半島北西沖の断層の分岐の考え方の記載、それから、内陸補正観測記録補正と地震動評価2の方の考え方の明確化等を、
00:39:14	を今しているということで明確化をするということで今下のスケジュール、
00:39:21	書いておまして現状そこの方を修正、
00:39:25	記載の充実化ということであれば今のところ来週資料が提出できるかなということでそちらの方は進めていると、ということでございました。一方でですね今その資料の黄色い箱の中で1個米印を振っているもの積丹半島北西沖の断層の分岐の考え方の記載と、
00:39:42	ということでアスタリスクで下の方に書いておりますこちらの断層については、
00:39:48	7月5日のヒアリング資料においては震源が存在する場合それから震源が存在しない場合という分岐を考えていたと、ということでこちらの方の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	考え方を明確にするようにというご指摘をいただいていたんですがこちらの方分岐の取り扱いについても今検討しているところ。
00:40:06	でございますこちらについては、分岐の方の見直しですね震源が存在しないという分岐具体的にはですね、震源が存在しない分岐っていうところの、
00:40:17	取り止めということを考えております。あわせて、同様に、ロジックツリーの中で一部確度が高いと言えないような地形んで分岐をしているようなものもありますのでそこら辺の分岐を見直すことで、
00:40:31	今後対応していきたいということでございます。今の検討状況それから、今後の方針としてはそういうことで今考えております。以上です。
00:40:43	はい。2人です。
00:40:49	ちょっとこの工程との繋がりがよくわかんなかったんですけど、枚数はあれですね7月5日のヒアリングで、
00:40:56	我々別に指摘をしたとかそういうのはなくて、確認する中でどういう考えなんですかっていう話だとか、やっぱりわかりにくいところわかりにくいって言うつもりなんですけど、まず、
00:41:10	考え方わかるようにして欲しかったから、その辺はわかりにくいっていうような言葉を使ったかもしれないです。ただ、そこはねコメント指摘っていうようなことではないかと思ってるんですけど、そういった確認でのやりとりを踏まえて、
00:41:25	若干ちょっと評価の考え方を換え、
00:41:29	変えるようなことを今変え変えるのか変えないのかというと、変えようかどうか今検討しているところみたいな話に聞こえたんですけども、
00:41:39	それは変えようとしてるっていうのをこの面談で、
00:41:43	伝えたいということですね。はい。北海道電力の宇津です。はい。我々としてはその積丹の分岐、特にその分岐ですが、そののについては、前回の後、頭を整理したものから、系統震源が存在しないという分岐をやめるということで変えていくと。
00:42:00	ということで今考えておりますのを、ということをお今日この面談で説明したかったということになります。はい。
00:42:08	その辺の
00:42:11	そうですねそうなってきたときに、
00:42:15	ちょっとその辺を変えるんですよって言った時に、の工程がこの下の書かれてる工程でいいんですかそれとも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:42:24	これを今検討してって、
00:42:27	まだちょっとこの辺、この工程も変わるかもしれないっていうそういう説明なんですか。はい。すみませんちょっと資料の方との整合が甘くついてませんがヘイト資料の方については現状の規制の充実化のみを図った場合、
00:42:41	のスケジュールをちょっと示しておりました。先ほど申しあげました分歧を見直すということで一部再計算をするということになりますので、それについては今ちょっと正スケジュールについては整理しておりますので、
00:42:53	あわせて整理できたところで論点スケジュールの面でなるかもしれませんが、もうお示ししたいなと思っております。
00:43:03	はい谷井です。
00:43:05	わかりました。これはあれですねちょっと。
00:43:09	それは非常に面談資料っていうのわかりにくくって、
00:43:15	これは数、少なくともこの工程は今検討中になったんだっていうのが、示して欲しかったなというのはあるんですけども、
00:43:28	ちょっとこの場のやりとりとして、面談の記録簿に残ることとしてはこの明確にしておきたいのがこの
00:43:38	スケジュールは、今、検討中で、
00:43:42	あって、前、前の、
00:43:45	スケジュールと、
00:43:46	そういうことですね。
00:43:48	はい。北海道電力の辻ですはい。申し訳ありません。現現状とかこれまでの想定だとうだったということでこれを今見直し中ということでございます。
00:44:01	はい、谷です。
00:44:04	はい。
00:44:08	ちょっとねそもそもですけども、そもそもこの工程もともと
00:44:12	検討をちょっと変える前にこの工程が守れたかという、
00:44:17	そもそもこの24日カーの週に資料提出が行われて、それから1週間、
00:44:24	前後でヒアリングして、
00:44:27	それからまた会合をやるかということになってくるとそもそもこのスケジュール自体が、
00:44:34	無理があるようなスケジュールが今ここで示されていると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:44:39	ということで、こっからどう延びるかっていう話を聞いてもあんまり意味がなさそうな気はしてるんです。で、ぜひ、次の
00:44:50	ヒアリングなりなんなり、申し込むときに、或いは何かの面談があれば、ちょうどそのときにでも聞きたいんですけども、それ今度、
00:45:00	工程の面談がありますよねプラントカードコード、そこで言って欲しいのが、
00:45:07	もともと、
00:45:09	ちょっとこれをベースにするんじゃないかって、そもそもやっぱり遅れ気味だった。
00:45:15	だと思ってるんですけども、本来これ見直しかけなかったらこれぐらいに終わってて、介護は8月半ばぐらいなのか8月。
00:45:24	になるような予定だったものがどう変わったの、どう変わるのかっていうのをぜひね説明して欲しくて、それが余りにもですね1ヶ月も2ヶ月も遅くなるとかいう話だったら、
00:45:36	いやいやそこはもう会合でちょっと1回はっきりさせませんか。そっちの方が早いんじゃないですかっていう話になると思いますので、
00:45:45	今の状況は、今日聞きおきますので、あとこれはプラント側との面談の中で、
00:45:52	状況わかりましたけど、工程に関しては、そっちの中で話してもらおう。
00:45:58	たらと思いますので、よろしくお願ひします。はい。北海道電力野尻ですそうですねプラント側との合同面談が、来週ですかね。24日の日にありますのでそこに向けてちょっと整理をした上で、
00:46:13	あとスケジュールの方はお示ししたいと思います現状もおっしゃる通り、第1部資料提出からその次の会合までっていうのはちょっと時間として厳しいなと思っていたところ、
00:46:23	プラスアルファでちょっと今解析の方も一度やりたいと思っておりますのでそれもあわせて次回ですね、ご説明するようにさせたいと思います。以上です。
00:48:20	はい。規制庁谷です。はい情報、状況は、
00:48:26	伝わりました。あとはわかんないところ、事としてはじゃあ見に行くこういう検討をした時にどれぐらいになるのかっていうことだと思うので、
00:48:36	追って説明をお願いします。
00:48:39	他はもう伝えたいことは特にないですかこの地震動関係。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:48:43	はい。北海道電力野尻ですはい今回検討を一部作り直したいということでございます。スケジュールもあわせて今後しっかりと示していきたいということでございます。我々の方からの確認とさせていただきたい事項は以上になります。
00:49:00	はい。規制庁谷です。
00:49:06	許可残と地震動の話しましたけど数の方も特にはないですかねも、
00:49:11	はい。なければ
00:49:13	面談は以上にしたいと思います。どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。